

2026 課題別セミナー 第1弾

# 管理職は 「罰ゲーム」??

でも、本当にそうだろうか。

～自治体経営の視点から管理職・監督者の意味を問い直す～

責任は重い。仕事は増える。  
部下との関わりにも悩む。  
だから、管理職にはなりたくない——。  
そんな声も聞かれる今、  
改めて考えてみたい。  
**管理・監督職だからこそ、  
できる仕事があるのではないか。**

◆日時

**10.5 (月)**  
(13:00-16:00)

◆定員 54名

◆負担金 無料

◆お申し込み方法

研修担当課を通じて、お申し込みください。

申込み〆切

**9/25 (金)**

24時まで

—現役市長と考える—

自治体経営の**トップ**と  
一緒に考える3時間。

講師：福岡県古賀市長

**田辺 一城 氏**



## なぜ、 現役市長と考えるのか。

管理・監督職は、組織の中で何を担っているのか。

自治体経営のトップは、そこに何を期待しているのか。

制度や理論だけではなく、実際に自治体を経営し、組織を動かしている現役市長の視点から、管理・監督職の意味を考えます。

## 【講師紹介】

田辺 一城 氏 | 古賀市長

毎日新聞記者、福岡県議会議員を経て、2018年に古賀市長に就任。現在2期目。「現場主義と対話」を信条に、DX、公民連携、シェアリングエコノミー、多文化共生、ジェンダー、脱炭素、働き方・組織風土改革など、分野を越えて次々と実践。災害時には自治体の枠を越えた支援にも即応するなど、常に現場を捉え、考え、決断し、行動する。自らの理念や実践を積極的に発信し、全国の自治体研修や大学、各種フォーラム等にも多数登壇。

## 「今回、語っていただくこと」 自治体経営のトップから 見た管理・監督職とは。

人口減少や価値観の多様化など、自治体を取り巻く環境が大きく変化する中、これからの自治体経営に何が求められるのか。

さまざまな改革を実践してきた経験から、なぜ組織を変える必要があるのか。

その中で管理・監督職に何を期待しているのか。を語っていただきます。

**管理・監督職だからこそ、  
できる仕事とは？**

### こんな方にお勧め！

- ✓ 管理・監督職（係長級以上の職員）
- ✓ 改めて自治体経営や管理・監督職としての役割を考えてみたい職員
- ✓ 部下との関わり方や組織づくりに悩みを感じている職員

## 【PROGRAM】

13:00 START

### 01 視点を広げる

市長講話 「多角的な視点で物事を見よう！」

### 02 自分の仕事とつなげる

リフレクション&他自治体職員とのミニ対話

### 03 管理職の意味を問い直す

市長講話 「管理・監督者の意味を考える」

### 04 みんなで考える

クロストーク・質疑応答

### 05 未来の自分へ

これから大切にしたいことをメッセージに

16:00 FINISH

〈お問い合わせ〉

TEL : 092-504-0551

mail : shioji-kari@ctv-kenshu-fukuoka.jp



福岡県市町村職員研修所  
Municipal Officer's Training Center Of Fukuoka Prefecture

